

内容	K P I	基準値 (2018年度)	目標値 (2024年度)	根拠資料・定義	担当課	
基本目標1 環境ファーストで未来を	CO2の削減量	20,217t-CO2	38,881t-CO2	御嵩町環境モデル都市行動計画第二次改訂版 様式3 削減見込の推計	環境モデル都市推進室	
	環境モデル都市の認知度	65.9%	65.9%	御嵩町環境モデル都市行動計画第二次改訂版 進行管理指標	環境モデル都市推進室	
	施策1 エネルギーの需給と循環利用	太陽光発電設置世帯数	480世帯	780世帯	御嵩町環境モデル都市行動計画第二次改訂版 進行管理指標中「家庭用太陽光発電システムの設置補助件数」の累計	環境モデル都市推進室
		名鉄広見線（新可児～御嵩間）延べ利用者数	896,043カット	898,000カット	名鉄より報告のある広見線（新可児～御嵩間）の延べ利用者数（年度ごと）	企画課
		公共交通（自主運行バス）の利用者数	24,069人	25,000人	ふれあいバス、ふれあい予約バスの利用者数（年度ごと）	まちづくり課
		レンタサイクル利用者数	142人	213人	レンタサイクル事業の利用者数（年度ごと）	まちづくり課
	施策2 自然環境の保全と活用	地域住民による里山保全活動参加者数	265人	400人	水土里隊、町内企業による里山保全活動等に参加した人数の合計	農林課
		企業との協働による森林づくり協定を締結した森林面積	40.4ha	40.4ha	「企業との協働による森林づくり協定」を締結している森林の面積の合計	農林課
		森林経営計画樹立面積	462.0ha	562.0ha	「森林経営計画」を認定している面積の合計	農林課
	施策3 環境意識の向上と環境教育の一層の推進	環境学習講座の参加人数	663人	1,000人	御嵩町環境モデル都市行動計画第二次改訂版 進行管理指標中「地域における環境教育の体験講座・講演会の参加者数」の累計	環境モデル都市推進室
		一般廃棄物生活系可燃物に占めるプラスチック製容器包装収集量の割合	3.1%	4.0%	プラスチック製容器包装収集量 / (一般廃棄物生活系可燃物排出量 + プラスチック製容器包装収集量)	住民環境課
	基本目標2 安心でわくわくするきずなを	御嵩町は「住みよい」と感じる町民の割合	55.6%	60.0%	住民アンケート結果（総合計画 まちづくりについてのアンケート）	企画課
子育ての環境や支援への満足度		未就学児3.1点 小学生保護者2.9点	3.5点以上	住民アンケート結果（子ども・子育て支援事業計画）	福祉課	
防災体制への満足度		20.4%	23%	住民アンケート結果（総合計画 まちづくりについてのアンケート）	総務防災課	
施策1 安心して子育て・子育てしやすい環境づくり		保育園待機児童数	0人	0人	待機児童数（岐阜県への報告・公表資料）	福祉課
		1歳6か月～3歳の子どもの朝食欠食者の割合	4.3%	0%	御嵩町健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画 指標中「朝食を欠食する人の減少（1歳6か月～3歳）」による	福祉課
施策2 移住促進・2地域居住等による定住・関係人口の創出		移住交流・子育て支援ポータルサイトアクセス数	3,618件	月4,000件以上	ポータルサイト「みたけ暮らし」のアクセス解析による月間アクセス数の最大値	企画課
		東京圏からの移住就業者数	0人	5人	「わくわく移住生活支援パッケージ」による移住就業者数（5年間累計）	企画課
		空き家バンク登録物件の成約数	15件	35件	空き家バンク登録物件のうち、売買契約、賃貸借契約の成立した件数の累計	企画課
施策3 暮らしの安全・安心の確保		防災リーダー数	193人	250人	防災アカデミー等の開催による育成人数の累計	総務防災課
		人口当たりの認知症サポーターの割合	6.3%	9.0%	認知症サポーター養成講座等の開催による育成人数の累計 / 町の人口	保険長寿課
		みたけ健康ポイント応募者数の20歳以上人口に占める割合	7.7%	10.0%	みたけ健康ポイント応募者の実人数（年度ごと）	福祉課
基本目標3 挑戦のバイタリティを		町内従業員数（事業所単位）	7,284人	8,000人	地域経済分析システム 自治体比較マップー市町村単位ー従業員数（事業所単位）	まちづくり課
	観光入込客数	47万人	51万人	岐阜県観光入込客統計調査による	まちづくり課	
	施策1 I o T、A I を活用した新産業創出	本社機能を移転した企業数	－	1社	企画課把握実績（5年間累計）	企画課
		IoT, AI等を導入した企業数	－	2社	みたけ工業団地連絡協議会等への調査等による（5年間累計）	まちづくり課
		支援事業を通じた起業家数	－	3人	起業支援事業（岐阜県事業を含む）を活用して起業した人数（5年間累計）	まちづくり課
	施策2 農林産品等の資源を活かしたブランド開発・販路拡大	新規就農者数	1人	2人	農林課把握実績（5年間累計）	農林課
		御嵩町特産品開発普及協議会の販売額	674千円	1,348千円	御嵩町特産品開発普及協議会によるイベント等における特産品の販売額の合計（年度ごと）	まちづくり課

○みたけ創生!!総合戦略（第2期） K P I 管理一覧（案）

資料2

内容	K P I	基準値 (2018年度)	目標値 (2024年度)	根拠資料・定義	担当課
施策3 新産業分野の人材育成のためのキャリア教育	東濃高校生、東濃実業高校生の町内就職者数	13人	20人	2校への聞き取りによる（年度ごと）	企画課
	工業団地における町内居住従業員率	22.2%	25.0%	まちづくり課による把握実績	まちづくり課
施策4 着地型・体験型の観光交流の推進	御嶽宿わいわい館の入館者数	8,058人	12,000人	御嶽宿わいわい館の入館者数実績（年度ごと）	まちづくり課
	滞在型農業体験施設の宿泊者数（5年間累計）	—	3,600人	滞在型農業体験施設の利用者数実績（年度ごと）	農林課
基本目標4 みたけのレガシー創出を	郷土を誇れると思う人の割合	25.7%	30.0%	住民アンケート結果（総合計画 まちづくりについてのアンケート）	企画課
施策1 興味深い取組への支援	支援事業によるクラウドファンディング案件公開件数	3件	9件	企画課によるクラウドファンディング相談を経て運営サイトに公開された件数（5年間累計）	企画課
施策2 みたけの興味深い「こと」づくりと情報発信	町SNSのフォロワー数	3,020 カット	4,000 カット	町のSNS（twitter,facebook,LINE）のフォロワー、友だち数の合計（SNS追加があった場合は随時追加）	企画課
	町が導入したアプリのダウンロード件数	9,624 件	13,000件	防災アプリ、広報アプリ、プログラミングスクールで開発したアプリのダウンロード件数の合計（新規アプリがあった場合は随時追加）	企画課
施策3 地域を担う人材の育成と活用	学校教育施策に対する満足率	17.3%	20.0%	住民アンケート結果（総合計画 まちづくりについてのアンケート）	学校教育課
	「げんきボランティア65」登録者数	306人	380人	げんきボランティア65に登録している高齢者数	保険長寿課
施策4 外部人材の登用で興味を惹くまちに	外部人材による講座の参加者数（5年間累計）	—	2,000人	外部人材を招聘して行った講座等の参加者数（年度ごと）	企画課

○第1期みだけ創生!!総合戦略に記載したK P Iの第2期における検討案

内容	K P I	基準値 (2014年度)	実績値 (最新)	目標値 (2019年度)	第2期の方針	理由等
基本目標 1 環境のまちで元気!	CO2の排出量	17.6 t	18.3t	15.9 t	変更	産業の状況により大きく左右され、実際に削減されているかどうか見えにくいので、CO2の「削減量」に変更する。
施策 1 環境モデル都市を進める人づくり・場づくり	環境学習講座の参加人数 (5年間累計)	—	663人	500人以上	継続 ↑	地方創生推進交付金事業のKPIとしても設定されており、変更に適さない。引き続き参加者増を目指す。
施策 2 クリーンで安全・安心なエネルギーの供給	再生可能エネルギーの活用住宅入居世帯数	—	—	3世帯	削除	事業が構想段階でストップしているため、削除する。
施策 3 みんなで進める持続可能な森づくり	信託契約を結ぶ民有林	106.7ha	207.51ha	244.8ha	変更	森林経営信託による周辺への波及はある程度目標を達成したため、町全体における森林整備の指標として、「森林経営計画樹立面積」に変更する。
	地域住民による里山保全活動数	—	7回	6回以上	変更	単に活動回数とするより、波及効果、規模を示す指標として、「地域住民による里山保全活動参加者数」に変更する。
	「企業の森づくり」による整備面積	20.0ha	40.39ha	40.0ha	継続 —	引き続き、協定締結の継続を目指す。新規に町有林をフィールドとして提供するのとはまとまった広さの箇所が限られ難しい。
施策 4 交通ネットワークでつなげる人の“わ”の拡大	公共交通 (自主運行バス) 利用者数	25,923人	24,069人	26,000人	継続 ↓	公共交通を活かしたまちづくりの指標として、引き続き継続する。
	レンタサイクルの利用者数	279人	142人	418人	継続 ↓	公共交通と他の場所の移動の利便性を担保するための指標として、引き続き継続する。第1期期間中の有料化に伴い、目標を下方修正する。
施策 5 一人ひとりが取り組む環境保全活動の促進	太陽光発電設置世帯数	350世帯	480世帯	650世帯	継続 ↑	御嵩町環境モデル都市行動計画における重要な指標であり、引き続き継続する。
基本目標 2 ひとが元気!	合計特殊出生率の向上	1.41	—	1.80	削除	子育て意欲を図る指標として良いものであるが、数値の発表が遅く、効果を図るのが難しいため削除する。
	子育ての環境や支援への満足度	未就学児3.1点 小学生保護者2.9点	未就学児3.1点 小学生保護者2.9点	3.5点以上	継続 —	子育て環境の充実のための指標として継続する。
	御嵩町が「好き」と回答した中学生の割合	89.8%	86.3%	90%以上	削除	それぞれの世代の役割を鑑み、特定の世代に限った指標はあまりふさわしくないと考えるため、削除する。
施策 1 健やかに産み育てるための環境づくり	保育園待機児童数	0人	0人	0人	継続 —	引き続き待機児童0を継続できるよう、指標としても残しておく。
	不妊治療助成により妊娠に結び付いた数	10件	7件/16件	20件	削除	不妊治療を望むかどうかにより左右され、また、妊娠に結びつくかも人による部分があるため、削除する。
施策 2 子どもの「生きる力」を育む教育の充実	学校教育施策に対する満足率	14.5%	17.3%	20.0%	継続 —	人づくりの大きな部分を担う学校教育については、その満足度は引き続き伸ばしていくべきものである。
施策 3 地域で子ども・子育て家庭を見守り・育む環境づくり	郷土を誇れると思う人の割合	18.9%	25.7%	23.3%以上	継続 ↑	キャリア教育などの事業が一定の効果が出てきたと考えられ、引き続き指標として管理していく必要がある。
施策 4 仕事と子育ての両立に向けた支援の充実	子育て支援に取り組む企業数	9社	23社	15社	削除	施策の整理により、施策として仕事と子育ての両立を削除したため。事業としてはワークライフバランスの推進は残しておく。
基本目標 3 しごと・経済が元気!	町内従業員数 (事業所単位)	7,202人	—	8,000人	継続 —	地域経済分析システム (RESAS) を活用した分析指標であり、欠かすことはできない。
	新規就農者数	0人	1人	1人	継続 ↑	目標値は達成見込みであるものの、就農人口に関しては課題の残る状況であるため、継続する必要がある。
	施策 1 産業・創業の振興と雇用の創出	本社機能を移転した企業数	—	0社	1社	継続 —
みだけ工業団地連絡協議会 新規加盟企業		—	3社	3社	削除	現在の工業団地に空きがなく、数を増やすには工業団地造成を行う必要があるが、その場合この5年間の目標としては適切ではないため削除する。
工業団地における町内居住従業員率		21.0%	22.2%	23.0%	継続 ↑	地方創生推進交付金事業のKPIとしても設定されており、さらに伸ばすことができるよう継続が必要である。
施策 2 未来につなげる農業づくり	住民が主体となった営農法人数	1法人	2法人	2法人	削除	すでに農業の集約化がかなり進んでおり、新規の営農法人設立の見込みは薄いので、削除する。
	農産物販売金額 (総額、全農業部門)	23,900万円	—	25,000万円	削除	目標値の予測が難しく、気候等による変動が大きいものとなるため、削除する。
基本目標 4 モノ・コトが元気!	移住者数	0人	6人	20人	変更	町の施策による移住者を強調するため、「空き家バンク登録物件の成約数」に変更する。
	観光入込客数	51万人	47万人	53万人	継続 ↓	観光客数の減少が著しい状況であるため、回復を図る意味でも継続は必要である。
	施策 1 「みだけ暮らし」の価値の磨き上げによる、住みたい、住み続けたい環境の整備	移住交流・子育て支援ポータルサイトアクセス数	—	3,618人	月3,000人以上	継続 ↑
空き家の改修支援件数		—	—	10件以上	削除	改修支援ではなく空き家の家財道具撤去の支援に方針を変更する。KPIでなく事業の記載にとどめる。
東京圏からの移住就業者数		—	—	1人	継続 —	「わくわく地方生活実現政策パッケージ」は2024年度までの事業であり、KPIの継続が必要である。

○第1期みだけ創生!!総合戦略に記載したK P Iの第2期における検討案

資料3

内容	K P I	基準値 (2014年度)	実績値 (最新)	目標値 (2019年度)	第2期の方針	理由等
施策2 まちのオリジナリティを活かした観光振興	古民家を活用した交流拠点施設数	0か所	2か所	1か所	削除	拠点整備というハード事業から、拠点を活用した事業へのシフトを図る。
	御嶽宿わいわい館の入館者数	9,991人	8,058人	12,000人	継続 ー	地方創生推進交付金事業のKPIとしても設定されており、変更に適さない。引き続き参加者増を目指す。
基本目標5 暮らしが元気!	御嵩町は「住みよい」と感じる町民の割合	58.5%	55.6%	60.0%	継続 ー	引き続き事業による住みよさ向上を目指す。
	亜炭鉱廃坑対策への満足度	13.1%	24.3%	14.0%	削除	事業課とのヒアリングにおいて、事業名のみ記載とすることとした。
	防災体制への満足度	12.3%	20.4%	15.0%	継続 ↑	この5年でかなり進展が見られたが、防災対策に終わりはないため、引き続き継続する。
施策1 暮らしの安全・安心の確保	避難行動要支援者台帳作成自治会数	6自治会	8自治会	18自治会	削除	自治会の意志によることも大きく、また、長期支援、作成後の管理等課題も多いため、KPI指標からは削除する。
	地域防災リーダー数	93人	193人	200人	継続 ↑	引き続き防災人材の育成は必要である。ただし、位置づけや役割の明確化も必要である。
施策2 地域で安心して元気に暮らせるための環境づくり	徘徊高齢者SOSネットワーク協力機関数	280件	290件	300件	変更	ある程度頭打ちの状況になっており、より認知症サポートを進めることができる「認知症サポーター」を指標とする(人口当たりの認知症サポーターの割合)。
	認知症サロン開設数	ー	1か所	1か所	削除	当初の目的を達成したため、サロンを広げるよりも「認知症サポーター」を指標とする(人口当たりの認知症サポーターの割合)。